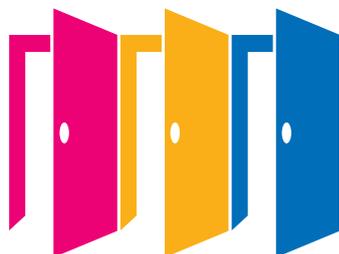
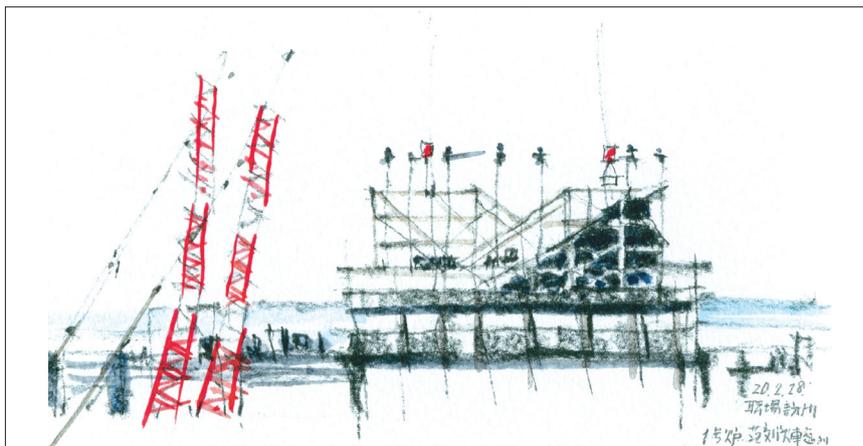


(2020-21年度 国際ロータリー・テーマ)



ロータリーは機会の扉を開く



「福島第一原発」(双葉郡大熊町)

家の掃除をしている時の発見

白田 礼治 (幼児教育関連)

コロナウイルス感染症に様々な影響を受け、生活が一変してしまった2020年も早いもので師走を迎えます。仕事においても生活においてもすべてが未知のウイルスに振り回され、世界中が大変な状況に陥りました。2011年に私たちが経験した東日本大震災の時もそうでしたが、当たり前前の日常があつという間に激変してしまうという経験は自分自身の価値観も大きく変えてしまいました。今の当たり前はこれからの当たり前とは違うという事を痛感する出来事でした。これからの一日一日を大切にしたいと思っています。

さて、先日今年一年の溜まった埃をきれいにしようと思い、部屋の掃除をはじめました。一年に一回は不必要な物など処分はしているのですが、また一年経つと沢山のゴミが出ます。普段から少しずつ整理できていれば、こんなに苦勞をすることも無いのと毎年同じ気持ちでいる自分が悲しいです。何事も普段からの心がけですね。部屋の中の片づけを

ある程度済ませ、窓の掃除、庭の周りに取り掛かった時、ふと庭にある木の枝に目が留まりました。良く見ると木の枝とと思っていたものはトカゲでした。何と木の枝にトカゲが刺さっていたのです。何故・・・こんなところにトカゲが・・・とびっくりしていたところに、隣に住む親父さんがたまたま通りかかり「これ見て！」とそのトカゲの不思議な状況を見てもらいました。するとその親父さんは「ああこれは多分百舌鳥だね」とおっしゃいました。「百舌鳥？何のことやら・・・」私は良くわからなかったのですが、百舌鳥という鳥は木の枝に獲物を刺すという習性があるという事を教えていただきました。早贄(はやにえ)と言うそうです。かわいらしい姿をしている割に何て残酷な・・・としばらくその恐ろしい光景に見入ってしまいました。動物にもいろいろな習性があるものだと改めて感じた発見でした。そのトカゲは今うちの庭の木の枝にぶら下がっています。

No. 21 2020・12・22

1951年3月6日設立
1951年3月15日RI認証

水戸ロータリークラブ

■例会日
毎週火曜日・12時30分
常陽銀行本店8階

■事務所

■会長 内藤 学 ■幹事 香嶋 貴

〒310-0021 水戸市南町2丁目5番5号 常陽銀行本店 別館5階
TEL.029(231)2151(代表) 直通(225)4820 FAX.029(225)4825
E-mail r.i.mito@sage.ocn.ne.jp ホームページ <http://www.mito-rc.jp/>



水戸ロータリークラブの皆様には日頃より温かいご理解とご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

つくばに「茨城いのちの電話」を開局し、電話を通してのボランティア運動が始めら

れたのはつくば科学万博開催の1985年でした。「科学都市」として造られたこの地で研究者の自殺が相次ぐなど住民の心の危機を感じた主婦たちの奔走によるものでした。1992年には水戸分室を開き、これまでに認定された相談員は約820名に上ります。現在、実働170名を超える人員が日夜、悩みを抱える方々の電話相談に耳を傾け、全国では50センター、6,500人が活動しています。

「いのちの電話」では一人で悩まずに掛けてみませんか、相談の内容の秘密は必ず守りますというお知らせをしていますが、相談電話を聴き、守秘義務を負うことを実践するには研修は欠かせません。養成講座を受講し、専門家の審査を経て認定を受けた後も全相談員が研修を継続します。

【茨城いのちの電話の相談状況】

2019年度は総受信件数、18,570件。男性が9,050件、女性は9,520件。自殺傾向は総受信件数の内、1,588件で女性がその64.6%。警察発表によりますと実際の自殺者数の7割は男性です。相談内容は「人生」に関わるものが最も多く、次いで、心の病気を抱えた方からの電話。3番目が家族についての相談です。

【自 殺 者】

2010年から減少が続き、2019年の自殺者は前年より671人少ない20,169人でした。依然として他の先進国に比べ日本の自殺死亡率は高く、若者世代の死亡原因第1位が「自殺」です。コロナ禍の今年、“小中、高校生の自殺が増加”と報道されています。

【新型コロナウイルス】

「茨城いのちの電話」は深夜帯は休ませて戴いていますが、感染防止に努めながら電話相談を続けています。従来のフリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」（毎月10日）に加え、6月からは「毎日フリーダイヤル・いのちの電話」（午後4時—午後9時）を全国20センターと共に行っています。

コロナ関連相談の統計を取り始めたのが6月です。以来、相談件数における男女の割合はほぼ同じ、年代は働き盛りの40、50代が大半を占めます。

内容は職を失ったなど経済問題が顕著です。中には“仕事が決まらず、ストレスで子どもに手を上げそうになる—（男性）”がありました。また、“通院、検査の予定を延期もしくは中止しましたが…”、外出を控える方々の葛藤に満ちた相談。人に会うことができなくなりうつを発症された方もいらっしゃいました。

【活動継続の課題】

自死に関するテレビ、ラジオのニュースで民間団体「いのちの電話」を紹介していますが、この相談活動を続けるには年間、約2,000万円の運営資金が必要です。その8割は皆様からの後援会会費とご寄付で成り立っています。寄付金型自動販売機設置のお願いも始めました。

また、毎年、募集してはいますが、高齢化などによる相談員の減少は深刻です。関心をお持ちの方はどうぞ、お問い合わせ下さいませ。

昨年立ち上げたITプロジェクトはホームページの充実、会費・寄付納入のオンライン化に取り組み始めました。SNS相談は来年度の実現に向けスタートを切ったところです。少しずつですが、時代を意識しつつ進んで参ります。

どうぞ、今後ともお力添えの程をよろしくお願ひ申し上げます。

◇ ゲスト紹介

茨城いのちの電話水戸事務局

平野美和子 氏

茨城いのちの電話講演会水戸事務局

川上 陽子 氏

◇ 茨城いのちの電話支援金贈呈

内藤会長より、茨城いのちの電話水戸事務局員平野美和子氏へ支援金が贈呈されました。

◇ 次年度会場監督について

次年度会場監督は、次年度理事会に於いて、牧 厚志会員にご承認いただきました。

◇ 会長の時間

内藤会長

早くも12月最終例会です。振り返ると何かとコロナに翻弄されましたが、会員増強は入会13名、退会1名、純増12名を達成することができ、水戸ロータリークラブ初の女性会員も誕生しました。会員組織各委員会のご尽力のおかげです。会場委員会による安心安全な会場設営の元、会場監督が鋭い目を光らせる中、21回の例会が開催されました。南極先生の北澤佑子教諭、大井川和彦県知事、パラリンピアンの中川凌河選手による素晴らしい外部卓話もありました。親睦活動が大きな制限を受け、納涼家族会・親睦旅行は中止となりましたが、10/6には第一回絆の会がフェイスシールドを装着しながら開催され、11/10池田正純ガバナー公式訪問も無事終了しました。各奉仕委員会は可能な範囲で活動をしていただいています。ニコニコ・財団・米山各委員会は粛々と寄付活動を進めています。今年度新設となった公共イメージ向上委員会はようやく目覚め、後期の活動に期待がかかります。出席委員会の地道なお声掛けもあり、11月までの平均出席率は82.4%を達成することができました。また、創立70周年実行委員会も毎月開催され着実に準備が進んでいます。すべての会員皆様のご献身的なご協力に改めて御礼申し上げます。あと半年よろしく願い申し上げます。さて本日の卓話内容は「いのちの

電話」です。12/11茨城新聞一面にショッキングな記事がありました。『女性の自殺、89%増 県内7～10月コロナで困窮か』と。じっくりとお話しを伺いたいと思います。来年の例会は1月12日から、会場はホテルテラスザガーデン水戸になります。年末年始体調管理に十分ご注意ください。健やかな新年をお迎えいただくことをお願い申し上げます。

◇ 出席報告

後藤委員長

会員数	出席数	欠席数	本日の出席率
120名	82名	38名	74.55%

前週訂正出席率 80.00%

◇ メークアップ

12/15 北海道2500REC 鎌倉 孝光
 12/16 北海道2500REC 原口 哲也
 12/18 ワールド大阪REC 岡本 圭司
 12/19 東京米山REC2750 石井 隆志
 12/23 水戸西RC 横須賀満夫

◇ にこにこBOX

鈴木(勝)副委員長

内藤会員……今日で半期が終了します。ご協力大変ありがとうございました。これからもよろしく願い致します。
 香嶋会員……本年もありがとうございました。来年も宜しく願い致します。
 大久保会員……一年間お世話になりました。来るべき年が穏やかで平和な年になります様に。
 豊崎(繁)会員……コロナの年が終わります。2021年もよろしく頼みます。
 砂押会員……内藤会長、香嶋幹事、コロナの中の上半期お疲れ様でした。出席率もよく皆様にも感謝します。
 二川会員……今年ももう終わりです。来年はもっと良い年になりますように。
 沼田(元)会員……12月ゴルフ同好会で優勝させていただきました。
 照沼会員……コロナでも頑張りましょう。

